

## 平成 28 年度 第 1 回大和市下水道運営審議会会議録 (抜粋)

日 時：平成 28 年 7 月 25 日 (月) 午後 1 時 30 分～2 時 30 分

場 所：市役所 5 階 第 6 会議室

出席者：河端恵美子委員、扇原博委員、齋藤俊衛委員、西岡久子委員、  
古川久美子委員、前田吉昭委員、鵜飼巡子委員、大井忠雄委員、  
中村達也委員、沼尻港委員  
市側 (都市施設部長、他事務局職員 5 名)

### 主な質疑内容の要約

#### (1) 下水道事業のあらましについて

①質 疑：資本費算入率が平成 26 年度は 64.7%ということだが、過去さかのぼってみてみると、どのような変化をしているのか。

(事務局)

答 弁：平成 25 年度は 62%、平成 24 年度は 40%台、それ以前は 20%台というときもあった。

②質 疑：毎年度新たに起債しているということは、借金の額は変わっていないのか。

(事務局)

答 弁：今現在は、起債の借り入れでわずかに残る未整備地域の整備や、老朽化してきている設備の改築更新を行っている状況で、年々返す額は微減している。将来的に借金の額が減っていくかどうかは、年度ごとの改築する費用によって変わってくる。

③質 疑：資本費算入率はどういうものなのか。

(事務局)

答 弁：下水道事業の中で、一つの指標として、各市町村が比較の意味も含めて出しているものである。まず維持管理費が賄えているのかどうか、次に資本費が賄えているのかどうかということをつけて出す数値である。